

200 点満点 (配点は予想値)

1

【解答】 [40 点(各 4 点×10)]

問1. (1) 1 (2) 3 (3) 2 (4) 4 (5) 3 (6) 1

問2. (1) 1 (2) 4 (3) 4 (4) 4

【解説】

問1.

- (1) 空所の直後で「赤ちゃんを出産した」と述べられている。したがって, 1. **pregnant** 「妊娠した」が正しい。 **exhausted** 「疲れた」 **disgusted** 「嫌悪した」 **thirsty** 「喉が渴いた」
- (2) 二本の腕で迷路の形を作るのであるから, 3. **letter-Y** 「Y字」が正しい。
- (3) 一方の腕に「恐怖感を引き起こす臭い」とあるので, それと対照的に他方の腕には **neutral** 「どちらとも言えない」臭いを付けたと考える。 **similar** 「似た」 **odd** 「変な」 **extraordinary** 「異常な」
- (4) 直前文の **alarm pheromone** の説明である。空所の直後の関係詞節で「ネズミやラットが脅威に直面した時に作る」とあるので, その先行詞として **substance** 「物質」が適切。
- (5) 直後の **Jacek** の会話で, 歯医者^歯が怖い親の子供も歯医者^歯を怖がると述べられているので, 3. 「この恐怖の伝達効果は人間にも起こる可能性がある」が入る。
- (6) 空所を含む文の直前までは母親から伝えられる恐怖症について述べられている。しかし, 空所直後の文で「父親やその感情もまた問題である」と述べられている。したがって, 「親から伝えられる恐怖症」が正しい。

問2.

- (1) **run in one's family** 「遺伝である」なので, 1. 「親から子へ伝えられる」が正しい。
- (2) **rodent** 「齧歯類^{げっしゆ}」なので, **mice** 「ネズミ」が正しい。
- (3) **pick up** 「～を感知する」なので, 4. 「それに気付く」が正しい。
- (4) テキスト全体の論旨を取ることはもちろんであるが, 特に第1段第1文で, 「恐怖感と恐怖症とは遺伝的であり, 嗅覚が重要な役割を果たす」とテーマが設定されていることに着目する。したがって, 1. 「親から伝えられる恐怖症」が正しい。

2

【解答】 [40 点(各 4 点×10)]

問1. (1) 1 (2) 4 (3) 3 (4) 4

問2. (1) 3 (2) 1

問3. (1) 4 (2) 3 (3) 2 (4) 1

【解説】

問1.

(1) fluctuations 「変動」

1. changes 「変化」
2. exercises 「運動」
3. habits 「習慣」
4. diets 「食事, ダイエット」

(2) elevated 「上げられた」

1. totaled 「完全に破壊された」
2. videotaped 「録画された」
3. kept 「保たれた」
4. raised 「上げられた」

(3) variability 「変動性」

1. effects 「効果」
2. problems 「問題」
3. differences 「相違」
4. objectives 「目的, 対象」

(4) 第1段第1文で、「血圧を測定することは容易に思われる」と述べ、第2段第1文で、「しかし、実際にはもっとややこしい」と述べている。したがって、simpleとcomplexとの組み合わせである4が解答になる。

問2.

(1) [A]の段落で血圧値に関するガイドラインを見直すことが求められていると述べられているが、それは第4段第2文で死亡率や心臓発作、脳卒中、心不全の比率が著しく下げられると報告された結果である。

(2) [B]の段落にanother option: a device that ~ at nightとあり、これが第14段第1文のthis sort of ambulatory monitoringで受けられている。

問3.

(1) 第12段第4文で、「患者はカフェインを摂るべきではない」と述べられていることに一致する。

(2) 第17～第19段では、多くの人が高血圧だと誤診されていることが述べられている。したがって、3. 「患者の中には高血圧剤を誤って処方される人がいる」が一致する。

- (3) 「この本文では何を言いたいのか」
1. 「医師は患者の正確な血圧値を重視すべきである」
 2. 「血圧値は状況によって変わる」
 3. 「時々血圧を調べる方が24時間それを行うよりもよい」
 4. 「自宅で血圧を測る方が病院で測るよりも正確である」
- (4) 第20段第1文のbut以下で、著者は24時間検査しても「確信が得られない」と述べている。したがって、1. 「不満を示している」が一致する。

3

【解答】 [40点(各4点×10)]

- 問1. (1) 2 (2) 3
 問2. (1) 1 (2) 1 (3) 2
 問3. (1) 3 (2) 2 (3) 2 (4) 1 (5) 3

【解説】

- 問1.
- (1) 第2段第1文で、対照群と比べて、「生活の幾つかの側面を変えた人々が気分やストレス値が大きく改善された」こと、そして第4文でその具体的態様が述べられている。設問[A]の文「2～3週間後に、彼らはまたトレーニングの強さを高め、睡眠と栄養について学んだ。そして、インストラクターと会って、自分の体に起こった変化を話し、様々な種類の活動に参加するように促された」というのはその結果である。したがって、第2段最終文の位置に入れるのが正しい。
 - (2) Poldrackが上記の研究結果を否定する議論として、第7段第4文で「サンプルサイズが小さすぎて、強く結論づけられない」と述べられている。設問[B]の文「Poldrackはその研究に参加していなかった」というのも、その研究結果を否定する一因となっている。なお、第6段第3文でも「研究規模が小さすぎて明確な結論を出せない」と述べられているが、Poldrackという人名は第7段第1文で初めて紹介されるので、不適である。
- 問2.
- (1) performは「行う」なので、1. behave 「行動する」に意味的に近い。2. entertain 「楽しませる」 3. cease 「止める」 4. observe 「観察する」
 - (2) intensiveは「強い」なので、1. demanding 「厳しい」に意味的に近い。2. expensive 「高価な」 3. exclusive 「排他的な」 4. damaging 「損害を与える」
 - (3) sustainableは「持続できる」なので、2. continuable 「継続できる」に意味的に近い。2. available 「利用できる」 3. probable 「起こりそうな」 4. understandable 「理

解できる」

問3.

- (1) 「行動の変化に関する実験参加者たちは、研究の一部としてどのような活動を経験したか?」
1. 「一日中瞑想に耽った」
 2. 「食べ物を変えた」
 3. 「ストレスを減らすのに 60 分間のセッションを行った」
 4. 「午後にストレッチと筋力トレーニングを行った」
- (2) 「Mrazek の研究の限界として、Poldrack が述べなかったのはどれか?」
1. 「その研究は、一度に多くのことを変えたとなぜ効果があるのかを説明していない」 第 6 段第 1～3 文に一致する
 2. 「その研究は 第 7 段第 2 文に一致する実験参加者の周囲の人々の影響を考慮していない」 本文に述べられていない。
 3. 「その研究は様々な介入要因を比べていない」 第 7 段第 1・2 文に一致する。
 4. 「その研究は十分な参加者がいない」 第 6 段第 4 文と第 7 段第 4 文に一致する
- (3) 「第 7 段落で『その影響』という語句は何を指しているか?」
1. 「食物摂取量の増加と体力」
 2. 「幸福感と記憶力の向上」 第 8 段第 1 文で、「健康と幸福を高める」ことが研究目標とされていることに一致する。
 3. 「持久力と柔軟性の低下」
 4. 「集中力と自尊心の低下」

4

【解答】 [40 点(各 4 点×10)]

問1. (1) 4 (2) 2 (3) 1 (4) 3

問2. (1) 3 (2) 2 (3) 4

問3. 2

問4. (1) 3 (2) 1

【解説】

問1.

- (1) ignore は「無視する」なので、4. overlook 「見過ごす」に意味的に近い。1. destroy 「壊す」 2. forgive 「許す」 3. cancel 「中止する」
- (2) adopt は「採用する」なので、2. choose to use 「選んで使う」に意味的に近い。1. make

known 「知られる」 3. come by 「やって来る, 手に入れる」 4. expand on 「さらに詳しく述べる」

- (3) give a voice to young children は「幼い子供に発言権を与える」なので, 1. speak for young children 「幼い子供に代わって話す」に意味的に近い。2. protect human rights of toddlers 「よちよち歩きの幼児の人権を守る」 3. make toddlers behave better 「よちよち歩きの幼児をお行儀良くさせる」 4. let young children be louder 「幼い子供を騒がせる」
- (4) acting out は「感情をあらわに出す」なので, 3. behaving badly 「行儀が悪い」に意味的に近い。1. using their hands 「手を使う」 2. playing a role 「役割を果たす」 4. experiencing the world 「世の中を経験する」

問2.

- (1) 「第1～3段によれば, 幼い子供は_____傾向がある。」
1. 「遊園地を好む」
 2. 「自分たちが信じることを守る」
 3. 「思わぬ行動をする」 第1～3段全体を通して, 子供の気分にはムラがあることが述べられている。
 4. 「親を嫌う」
- (2) 「第9段によれば, 子供は発達上の節目を_____迎える」
1. 「コントロールして」 第11段で, 未就学児は衝動が抑えられないと述べられている。
 2. 「何の前触れもなく」
 3. 「様々な仕方で」
 4. 「一步一步」
- (3) 「第11～12段によれば, MacNamara博士は幼児の親は_____必要があると論じている」
1. 「何が正しく何が間違っているのかを幼い子供に繰り返し説明する」
 2. 「子供と一緒に感情の激しい変化を楽しむ」
 3. 「子供を上手に育てるのに専門化の援助を求める」
 4. 「子供が衝動的に行動しないような環境を整える」 第11～12段全体の論旨を捉えることが基本である。しかし, 特に第11段第4文で「子供に責任を取らせることを単に強要するよりも, 親は介入して…衝動を抑制させる必要がある」と述べていることに着目する。

問3.

設問文中の that と this developmental shift は, 第9段第1文の developmental

milestone を指している。設問文では、そのようなことが起こる前は、親は子供たちに対して「現実的な対応」つまり「幼児を成熟したと誤って考えてはならない」ことを解いている。したがって、空所 2 に入れるのが正しい。

問4.

(1) 「本文では何が述べられているか？」

1. 「幼い子供が行儀悪くし始めた時に、親にできることはほとんどない」 little がキズ。
2. 「MacNamara の本は読者に完璧な親になるように支援している」 perfect がキズ。
3. 「親が幼い子供を理解して支えることは重要である」 第 12～15 段の結論部に一致する。
4. 「幼い子供に結果を説明することは、その子たちの脳の成長に役立つ」 子供の脳の成長については第 7 段で語っているが、そこでは「脳が十分に発達していない」と述べられているだけである。また、結果の説明に関しては第 10 段の議論と一致しない。

(2) 「本文に一番相応しいタイトルは何か？」

1. 「幼児への理解—発達心理学者の少しの援助で」 MacNamara 博士の書名になり得るが、本書の著者は発達心理学者であるとの説明はない。
2. 「幼児の行動への介入—解決志向型アプローチ」
3. 「感情の発達を早期に促す—心理学者の助力で」
4. 「幼児の論理的思考力への理解—短時間で分かる入門書」 第 13 段第 1 文で述べられている様に、本書は子供の成長を親が理解してあげることの重要性を説いている。

5

【解答】 [40 点]

Reading this theme, a teacher came off the top of my head. He made me what I am today.

He was an English lecturer at a private preparatory school. Of course, he was a proficient English teacher, but there were more than one. I learned about 'life' from him. Before meeting him, I was a slacking student. Indifferent to everything, I spent my life lingering away.

At the time he appeared, he didn't teach us English, but showed us why we have to learn, why we live and how we should live as human beings. I felt as if I were struck by

lightning. Certainly, I had thought about *how* to study, but I didn't think *why* I am studying. He taught us about many terrible conditions in the world, such as hunger, war, terrorism and so on. He said to us "In such conditions we have to do what we can. Even with trivial things, if we could do our best single-mindedly, it would help us realize our purpose in life."

Searching for 'my true self' following his passionate speech, I began to study everything with strong emotion.

At precisely the same time, I read an account of 'Medecins Sans Frontiers' in the newspaper. It reported that the members of MSF were killed in the Syrian War. That was very shocking to me. Why had the members of the international medical support team been killed? Wouldn't it be immoral if their death were to be forgotten?

So, I am determined to study medicine to join MSF. Today, I am here to make my dream come true. (277 words)

【解説】

「この世に生まれて 18 年かそれ以上経って、公式には学校で、非公式にはそれ以外の場で、あなたは多くの人から学びました。自分の経験や観察に基づいて、一番素晴らしい教師について考えなさい。その様な教師を素晴らしいと考える特徴の幾つかを詳細に述べ、またあなたがそう考えることを裏付ける実例と理由を挙げなさい。記述された文章は質と量との両方の観点から評価されます。また、あなたが書いた文章が問題文に答えたものになっているかどうかということも評価に入ります。」

論題としては非常に面白い。この様な私生活に関わる論題は昨年の「2 年前に戻れたら何をするか」というのも同様である。これは 2015 年度の「人類史に最も大きな影響を与えた技術とは何か」や、2014 年度の「化粧品開発で動物実験を行うことの是非」などという社会問題とは異なる。つまり、論題に関する背景知識が問われることはないので、社会問題に疎い受験者にとっては書きやすいものであったろう。

とは言え、全体の時間配分からして、15 分ほどで書かなければならないので、それだけでもきつい問題である。

テーマをしっかり受けて、実例を挙げつつ、自己の主張を述べる。基本的には、「テーマ→論証→結論」の三段構成がとられていることが重要である。特に、解答例では、最後の結論部で、医師になるために順天堂に入りたいという想いを強く訴える形にしてみた。